

高杉保代さん『イギリス旅行』（2月27日配信）

イギリスに旅行した時の話です。

ロンドンと、ある田舎の村、そこの名前はもう忘れてしまったのですが、その場所は、東京と北海道くらい離れていて、とても遠い所です。ツアーのバスで向かいました。住宅街を走り抜けていくどやがて緑の丘陵地帯に入り、ところどころに羊もいました。家は、小さな家がぽつぽつ見えるくらいで、そんな中を走りながら村に到着しました。

自然が豊かで、景色もとてもきれいな気持ちのいいところでした。その村には、名前は忘れてしまいましたが有名な作家の生家があって、ここは有名な家なんだよと教えてもらいました。その家は、もう300年前くらいのもものなんだそうです。木造の、白い壁の家で、丸い屋根がどうなっているのかなと思い見てみると、木の枝を集めたもので覆われていました。その家を見ていて思いついたのが、日本の確か岐阜にある白川郷の合掌造りの家と雰囲気似ているんです。白川郷の家は、木造で土壁、屋根は米を収穫した後の藁を集めて作られています。何かそれとそっくりだなあと思いました。